

2009年度 大学院法務研究科
法学既修者認定試験
刑 法
(問 題)

問 1

甲は、ダートトライアル（未舗装の路面に設定されたコースを走り、そのタイムを競い合う競技）の初心者であり、ギアを2速までしか入れたことがなかったところ、甲が練習走行する際、ベテランのAが「私も同乗させて欲しい」と頼み、甲はこれに従った。すると、Aから「ギアを3速に入れろ」と言われたので、甲は、時速80km程に加速したため、カーブで走行の自由を失い、車体はコースを大きくはみ出し、防護柵を越えて、見学者のいる場所からはずれたところに積まれてあった丸太に激突した。その結果、Aは頭部を強く打ちつけられて死亡するとともに、丸太の前でたまたま寝ていたホームレスのBにも車体が当たり、Bも死亡した。

甲の罪責を論じなさい。

問 2

甲と乙は金に困り、現金を盗む意図で夜中にA宅に侵入し、人気のなかった1階の応接間や台所で現金のありかを探したが、見つからなかった。そのため、乙が焦り始め、「この家はあきらめよう」と甲に言ったが、甲が応じなかったため、乙は、「いい加減にしないとやばいぞ」と言って去ってしまった。その後、甲は、1人で2階の様子をうかがい、誰もいないことを確認した後、2階に上がって寝室に入り、中のタンスに目をつけ現金を探そうとしたところ、ちょうどAが帰宅して、甲がいるのを発見し、甲を捕まえようとした。甲はそれに抵抗して、寝室のドアの横に置かれていたゴルフクラブでAを殴って逃げようとクラブを振り回したので、Aは1人では対応できないと思い、屋外に出て助けを求めようと走り出したが、100メートル程走ったところで、歩道の段差につまずいて転倒し、負傷してしまった。

甲及び乙の罪責を論じなさい。